

デジタルトランスフォーメーションへの取り組み

DX活用による企業価値の向上への取り組み

■ DX推進による生産性向上と新たなサービス・体験の提供

当社グループは、第5次経営計画における基本戦略の一つとして「オペレーション戦略」を掲げ、DXの活用を通じて業務の効率化、コスト削減等を通じて中長期的な企業価値の向上に努めるとともに、お客さまへ新たなサービス・体験を提供いたします。

■ お客さま・地域のDX化支援

● 中小企業のDX化支援サービス「とくぎんDX・ICTサポート」(徳島大正銀行)

徳島大正銀行は、中小企業のデジタル化を支援するサービス「とくぎんDX・ICTサポート」を展開しています。

働き方改革や業務効率化といった取引先の経営課題の分析を行った上で、個々の企業向けに最適なDXプランを提示するものです。DXやICT(情報通信技術)分野を専門とする提携先7社と連携し、ペーパーレス化や定型作業の自動化、セキュリティ対策等の現場レベルの業務改善から企業風土の変革まで、総合的なDX支援を行う体制を構築しています。取引先の経営課題の解決に向けて、スピーディーかつ最適なソリューションの提供に努めています。



「とくぎんDX・ICTサポート」の流れ

■ 非対面チャネルの拡充

● スマートフォンアプリ機能の充実(徳島大正銀行・香川銀行)

徳島大正銀行及び香川銀行は、スマートフォンアプリ機能の充実を図ることで、お客さまが時間と場所を選ばずにより多くのサービスを受けられる環境整備に取り組んでいます。デジタル社会におけるお客さまの多様なニーズにお応えするため、今後もアプリ機能の拡充を推進していきます。

● バーチャル店舗「とくぎんネット支店」及び「セルフうどん支店」の開設(徳島大正銀行・香川銀行)

徳島大正銀行及び香川銀行は、インターネット取引限定の支店を運営しています。各銀行の店舗がない地域から口座開設の申込みができ、パソコンやスマートフォン、全国の提携ATMを通じてお取引できます。また、バーチャル店舗限定のキャンペーン等、ネット専用の商品をご用意しています。

■ 店舗・業務のデジタル化

● 店頭タブレットの導入(徳島大正銀行・香川銀行)

徳島大正銀行及び香川銀行は、店頭におけるお客さまの記入負担軽減・待ち時間短縮を目的に、店頭タブレットを導入しています。タブレット端末上で口座開設、投資信託や生命保険手続き等を行えます。店頭の利便性向上とお客さまの課題を解決するためのコンサルティング営業のための時間と人員を創出することで、地域・お客さまとの関係性をさらに深化させます。



タブレット端末による金融商品販売

■ DX推進の体制整備

● DX人材の育成(徳島大正銀行・香川銀行)

徳島大正銀行及び香川銀行は、デジタル人材の育成に取り組んでいます。DX化を推進するための専門部署を設置し、職員全体のITリテラシーの底上げを図るとともに、高いデジタルスキルを持った専門人材の計画的な育成・採用を強化しています。ITの基礎的な知識の習得を図るための「ITパスポート試験」の取得推進や、階層別・分野別の行内研修の拡充等により、DXマインドを醸成し、地域のデジタル化に貢献していきます。

● ITパスポート試験取得者数(銀行子会社合算)

	令和6年3月末(実績)
ITパスポート試験取得者数	196名